

リーグ 第4週3月26日(晴れ) 厚木信連グランド

🏆第1試合【1回戦】 港南 1勝

安藤キャプテン 目覚めの一打
中前に先制V適時打を放つ
ルーキー石川 3安打の猛打賞も
残念怪我でリタイア今期絶望

	(3)	(4)	(0)	(1)	(2)	(1)	(0)	計	安打
港南	2	1	0	1	1	1	0	6	(11)
浜友	0	1	0	0	0	0	1	2	(10)
	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(2)		

勝 塚田 1勝1敗

S 安藤 1S

敗 久保田 1敗

MVP: 安藤 本塁打: 高橋1号・徳村1号 (浜友)
V打点: 安藤 二塁打: 山田 (港南)・石川 (浜友)



少し不調でしたが、
これでもうOK！
るんるんの
キャプテンでした

安藤



その安藤さんからレフトフェンス
ダイレクトのホームランを放ちました
徳村

3 安打猛打賞
石川 伸哉 (浜友)

痛え～！
これから
という時の
大怪我



石川

 第2試合【1回戦】 浜風 1勝

浜風 2試合連続2桁安打&
2桁得点の猛打を放って圧勝
ルーキー三橋 4安打の大活躍！

	(2)	(1)	(1)	(3)	(1)	(0)		計	安打
港	0	0	0	3	0	0		3	(8)
浜風	3	0	0	7	11	X		21	(13)
	(4)	(1)	(0)	(3)	(5)				

勝 三橋 1勝

敗 稲田 1勝1敗

MVP: 水品 二壘打: 水品②・小林孝・三橋
V打点: 水品 (浜風) 尾野・古橋・
四方田・小林清 (港)



3打数3安打5打点
の荒稼ぎ！

水晶

3 安打猛打賞
水品 弘 (浜風)
小林 孝雄 (浜風)

4 安打猛打賞
三橋 俊哉 (浜風)

浜友					港南				
守	氏名	打数	安打	通算打率	守	氏名	打数	安打	通算打率
2	松本	4	0	0.091	D	吉田信	3	2	1.600
8	斉藤	4	0	0.182	6	村瀬	2	0	0.200
5	石川	4	3	0.625	5	土門	3	2	0.400
3	徳村	3	2	1.667	3	安藤	2	1	2.200
6	館	4	1	0.444	4	高須賀	2	0	1.250
9	小松	3	0	0.333	D	渡利	3	0	0.100
7	高橋	3	2	1.455	8	山田	2	2	1.500
1	久保田	3	2	0.364	D	富岡	3	0	0
4	小林一	3	0	0.273	9	小島	3	1	0.091
					7	苗代	3	1	1.100
					1	塚田	2	2	0.500
					2	植木	2	0	0.143
チーム計					チーム計				
		31	10	2.342			30	11	6.236

※守備位置はスタート時

投手 氏名	回 数	安 打	三 振	四 球	失 点	投手 氏名	回 数	安 打	三 振	四 球	失 点
久保田	3	7	1	1	3	塚田	3	4	1	2	1
斉藤	2	3	1	2	2	渡利	1	1	1	0	0
高橋	2	1	0	1	1	安藤	3	5	0	0	1
チーム計	7	11	2	4	6	チーム計	7	10	2	2	2

浜風					港				
守	氏名	打数	安打	打点 通算 打率	守	氏名	打数	安打	打点 通算 打率
7	弘中	3	1	0.357	9	四方田	4	2	2.400
8	萩原	4	0	0.200	2	小林清	3	1	1.286
6	三橋	4	4	0.600	6	尾野	4	2	0.333
5	窪田	2	1	2.250	1	石原	3	2	0.625
9	水品	3	3	5.333	8	稲田	2	0	0.200
1	持丸	2	0	1.455	7	大矢	3	0	0.091
2	西岸	3	1	2.286	5	猪股	2	0	0
3	石井	2	0	0.308	4	古橋	1	1	0.375
4	小林孝	3	3	3.545	3	秋葉	3	0	0.111
D	鈴木猛	2	0	0					
D	松本義	2	0	1					
D	浅井	3	0	1					
チーム計 33 13 15 .316					チーム計 25 8 3 .313				

※守備位置はスタート時

投手 氏名	回 数	安 打	三 振	四 球	失 点	投手 氏名	回 数	安 打	三 振	四 球	失 点
持丸	3	4	1	1	0	石原	3	5	1	0	3
三橋	2	4	3	3	3	稲田	2	8	1	9	18
萩原	1	0	1	0	0						
チーム計	6	8	5	4	3	チーム計	5	13	2	9	21

港南初回吉田信左前打と盗塁での無視2塁も投手牽制死でいやなムードを村瀬四球と土門の中前打のあと安藤の中前適時打で2点先制し払拭。2回は山田の左越二塁打を小島・苗代の連打で得点。浜友その裏高橋の右翼ネットへの本塁打も港南は4回山田の左前適時打で、5回は塚田の中前打を足掛りに吉田信の左前適時打で、6回は土門の内野安打を内野ゴロ2つで小刻みに得点を積み重ねる。浜友終回2死後徳村の一振り左翼ネットにダイレクトの本塁打が出るもソロでは追い付けず。尚、初回浜友新人石川が三塁ゴロを一塁上で膝を捻るも激走し内野安打。以降2打席目は右中間安打、3打席目は左翼ネットの僅か下を通過あと数cm高ければホームランの打球を放つなど猛打賞も検査の結果は右膝靱帯切断。浜友に明るい希望の星も一転、今期絶望。早い快復を願うばかり…。

浜風初回弘中と三橋の中前打と窪田の2点中前打更に水品の左中間適時二塁打で幸先よく先制。港は4回猪股四球と古橋左中間二塁打の2死二・三塁で四方田と小林清の共に中越二塁打で3点を挙げて同点に追い付いたが勝負はここまで。その裏港は二番手稲田が野手に足を引張られる。4つのエラーと3死四球を絡め水品と小林孝の長短の適時打などで7点。5回は2失策と6四球に3つの暴投等を折りまげて三橋のこの回2本のヒットなど打者16人を送り込んで11点を頂いた浜風は三橋4安打、水品は3安打5打点、小林孝3安打3打点と稼いで先週に引き続いての圧勝でこのままの勢いで波に乗れるか？

①第3試合 [1回戦] 浜翔 1勝

時長 1点に抑えて初勝利

森文 エラーから崩れる

	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)		計	安打
湘南	1	1	0	1	0	0		3	(3)
浜翔	0	3	0	2	6	X		11	(8)
	(1)	(2)	(0)	(1)	(4)				

勝

時長 1勝1S

敗

森文 1勝1敗

MVP: 時長 二塁打: 雨宮・秋山(浜翔)

V打点:



今シーズンは既に1勝1Sとなかなか好調！

時長

浜翔					湘南												
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率						
9	鈴木兼	2	0	1	.250	6	伊藤重	2	0	0	.500						
D	時長	2	1	1	.375	3	丸木	2	0	0	.143						
5	雨宮	3	1	0	.400	2	犬塚	1	0	0	.250						
7	伊藤慎	3	2	2	.429	1	川崎	2	0	1	.400						
2	丸山	3	1	2	.333	5	大西	2	0	0	.250						
8	菅	3	0	0	.286	5	内藤	2	0	0	.375						
3	福島	1	0	0	.286	5	岡崎	2	0	0							
6	鈴木隆	0	0	1	.250	4	太刀岡	2	1	0	.143						
D	中島	2	1	1	.500	8	中村	1	0	0	.143						
D	秋山	1	1	1	.375	D	森文	2	0	0	.143						
1	白戸	1	1	1	.143	7	市川	2	1	0	.125						
4	茜屋	2	0	0	.111	9	柴田	1	1	0	.333						
D	中筋	1	0	0	.250	D	玉木	2	0	0							
チーム計					24	8	10	.340	チーム計					23	3	1	.186

※守備位置はスタート時

投手	回	安	三	四	失	投手	回	安	三	四	失
氏名	数	打	振	球	点	氏名	数	打	振	球	点
白戸	3	2	2	3	2	川崎	3	3	2	2	3
時長	3	1	1	2	1	森文	2	5	2	4	8
チーム計	6	3	3	5	3	チーム計	5	8	4	6	11

湘南初回丸木・犬塚四球とそれぞれ盗塁のあと川崎の内野ゴロで先制。2回は内藤の振り逃げと太刀岡の左前打をレフトがトンネルの間に得点。その裏浜翔は敵失のあと福島と鈴木隆が連続四球で満塁とし中島の中前適時打と秋山が中犠飛白戸の左前適時打で逆転。4回湘南は敵失で得点を加えて同点にするも、その裏浜翔は時長四球と敵失に伊藤慎内野安打の1死満塁で菅の内野ゴロがエラーを誘い勝越、鈴木隆の押し出しの死球で2点目。5回は秋山の中越二塁打を足掛りに1死満塁から鈴木兼が死球で押し出しさらに時長の適時内野安打、伊藤慎・丸山の共に2点適時打等で一挙6点を奪ってスカッと快勝。

横濱フォーティーズ野球倶楽部理念

我々中高年にとって野球をすることが老化を防ぎ運動不足を補うのに非常に良いことを見、聞きし、ここに希望者が集合し、チームを作ったものであるから、楽しく仲良く野球を楽しみ、又、野球ばかりでなく個々の交流を図り親善を深め、何卒になっても野球を続けられることを念願とする。

上記は結成後間もなく起草された、最初の倶楽部規約の主文です。30年前に作られた「主文」は、決して良い文章とは言えませんが、フォーティーズの理念を良く表していると思います。その「主文」に思いを寄せつつ、当時を振り返ってみます。

★1977年(昭和52年) フォーティーズ誕生

- 12月27日夜、戸田利男氏の新聞投稿欄での呼びかけに応じて国電洋光台駅前に6人の野球狂が集合。さっそく意気投合して、40歳以上の中高年野球クラブを設立することに決定。チーム名「フォーティーズ」も直ちに決まって、ここにフォーティーズ野球倶楽部が誕生。その歴史の第一歩が踏み出された。
- フォーティーズ生みの親ともいべき、6人の発起メンバーは次の通り。

戸田 利男 藤田 静一 (倶楽部役員として、代表兼監督・戸田氏、
斉川 渡 岡田 忠之 事務局長兼マネージャー・藤田氏が選出された。)
江田 正男 板橋 正
以上【1期生】残念ながら全員退部されています。

★1978年(昭和53年) 会員増で内外戦も活発に

- 1月初旬、戸塚の消防訓練センターで室内トレーニングを6人で開始。3月、港南台駅前公園広場で毎週日曜日練習をスタート。会員も13名に増えて野球チームとして成立するようになった。
- 3月26日、胸に「Forties」マークをつけたユニフォームが出来上がり、全員着用する。
- 4月から晴れのユニフォーム姿で初の対外試合を行う。以降会員数も漸増して20名を越えて、当日の出席者がジャンケンでA、B班に判れて練習試合を行う。当時から出席者全員出場制を模索し、現在のDH制の全員野球の原型が出来る。
- 特筆すべきは、紅一点元女子プロ野球選手：笹井志げみさんの加入で、彼女は女性としては最初で現時点で最後の会員となった。
- 主将として斉川渡氏が選任され、この1年間で会員数が約30名に達した。

この【2期生】の中で現在現役として活躍している会員は次の6名。

浅井 良樹(浜風) 鈴木 善二郎(浜風) ()は現所属チーム
小島 忠雄(港南) 鈴木 義博(浜風)
玉木 哲彦(湘南) 萬木 紀一郎(港南)